

第6回ワークショップ

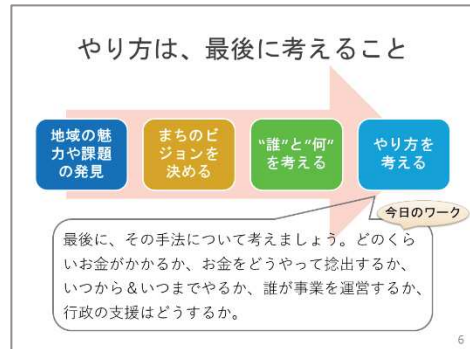
テーマ：まちの機能再編にチャレンジ！ ～将来像から考えよう～

これまでに検討してきたことを踏まえ、班ごとに若葉町の将来計画図を描きました。どこでどのような活動を行うかを考え、具体的な機能再編案を検討しました。

■機能再編の考え方、将来のまちの姿についての説明

市から、機能再編の考え方について説明を行いました。また、令和3年度に実施した「旧若葉小学校・現清掃工場跡地の利活用に関するサウンディング型市場調査」の概要についてお知らせしました。

讃岐先生からは、まちづくりワークショップ全体の流れと本日の位置付けについて、実例を交えての説明がありました。



■ステップ1 これまでのワークをふりかえろう

班ごとに、第1回～5回のワークショップで行ってきたワークの内容や目的、各回の成果物をふりかえり、それぞれの班が描いている将来像や、大切にしたいと思っていることなどを再確認しました。今までのワークは将来計画図を描くための下地や要素となっています。

■ステップ2 若葉町の将来計画図を描こう！

第5回ワークショップで意見を出した、将来の若葉町で行いたいこと、これからも続けていきたいこと、大切にしたいと思うことを、若葉町内のどの場所で行いたいかを考え、その機能や活動メニューのふせんを地図に貼りました。

機能再編を検討する際のポイントは大きく4つです

- 将来に引き継ぐことを考える
⇒余剰空間や過大な費用負担が生じない機能再編
- まち全体のことを考える
⇒地域の資源全体に着目し、「こだわりポイント」を実現する機能再編
- メリット・デメリットを比較する
⇒複数の視点(お金、利便性、広さ)を持ち、それぞれに偏りが無い機能再編
- 時間軸を意識する
⇒施設の耐用年数と現清掃工場跡地の発生するタイミングを考慮した機能再編

今ある建物の耐用年数や、必要な費用などのことも考え、班のみんなで意見を出し合いながら、将来計画図を作りました。

モデルプランその1【参考】

こだわりポイント

- 集会・交流機能と子育て支援機能を集約し、環境、防災に配慮した新たな拠点の形成
- 学校教育機能と学習機能を複合化し、新たな学びの場を創出
- 学校建替え時の生徒、教職員の負担軽減

【メリット】
・仮設校舎の建設が無く、生徒等及び市の負担を抑制

【デメリット】
・拠点が区域の北側に偏る

① 第九中学校の現地建て替えに合わせ若葉図書館の機能を複合化
・清掃工場跡地に若葉会館・グリーンセンター、若葉児童館・若葉学童、東部連絡所の機能を集約し、民間収益施設と複合化
・線の連続性や防災面に配慮した空地を確保
・若葉会館跡地及び若葉児童館・若葉学童跡地は売却し、民間利用

② 旧若葉小学校は第九中学校建替え時の仮設校舎として使用
・建物除却後、サービス付き高齢者向け住宅や公園として再整備

「ちょこっとひとことコーナー」では1名の希望者にお話していただきました。

第6回 まちの機能再編にチャレンジ！ ～将来像から考えよう～

はじめに

今回のワークでは、将来のことを具体的に考え、班ごとに将来計画図を描きます。これまでに検討してきたことをもとに、まちのキャッチフレーズや基本方針を実現するため、どこでどのような活動を行うかを考え、機能再編案を検討します。

また、令和3年11月～12月にかけて実施した、「旧若葉小学校・現清掃工場跡地の利活用に関するサウンディング型市場調査」の結果の概要をお知らせしました。

※市ホームページ：<https://www.city.tachikawa.lg.jp/gyoseikeiei/koukyousisetu/wakabasounding.html>

（「旧若葉小学校・現清掃工場跡地の利活用に関するサウンディング型市場調査」で検索していただくと検索結果に表示されます。）

<若葉町の「将来のまちの姿」を考えるために>

東京都立大学 讃岐 亮 先生

これまでのワークで、若葉町の魅力や課題を地図に落とししたり、語り合ったりする中で、まちの将来像（ビジョン）、キャッチフレーズ、方針が浮かんできました。また、身近にある施設の状況を再確認し、評価をしました。今回は「誰」と「何」を考える「やり方を考える」に取り組みます。

まちづくりWSの進め方



「生かせる資産」を見つけ、そこでは誰が関わるか（サービスを提供する人、そこで活躍する人、サービスを受けて笑顔になる人）を想像してみる。

最後に、手法を考える。どのくらいお金がかかるか、お金をどうやって捻出するか、誰が事業を運営するか、行政の支援はどうするかなど。

ステップ1 これまでのワークをふりかえろう

グループワーク

これまでに行ってきたワークは、まちの将来を考えるために、様々な角度から若葉町を見つめ直し、地域の魅力や課題、今ある施設の使われ方などを把握、共有することが目的でした。そして将来像をイメージし、キャッチフレーズ、基本方針、機能再編のためのこだわりポイントなどを考えました。班ごとに、第1回から積み重ねてきたワークの成果を振り返り、いよいよ、ステップ2では具体的な将来計画を考えます。



ステップ2 若葉町の将来計画図を描こう！

第5回で意見を出した、将来の若葉町で行いたいこと、これからも続けていきたいこと、大切にしたいと思うことを、若葉町内のどの場所で行いたいかを考え、その機能や将来の活動メニューを地図に貼りました。

グループワーク

今ある施設も耐用年数を迎えると建て替えを検討しなければなりません。その時どうするか？ 将来世代に負債を残さず、みんなが暮らしやすいまちの姿とは・・・？

活発に議論が交わされ、たくさんの意見や工夫が見られる将来計画図（次回ブラッシュアップしてポスターとして整える予定）ができました。



.....各班の若葉町将来計画図.....

黄色ふせん・青ふせん：将来の若葉町でやりたいこと（活動メニュー）

ピンクふせん：機能



まとめ

東京都立大学 都市環境学部建築学科 助教 讃岐 亮 先生

各班、様々な意見が出ていました。2つの団地の交流について考えた班、今ある施設を大事に使っていきたいという班、旧若葉小学校と清掃工場跡地について考えた班。また、旧若葉小学校の建物を活用したいと、耐用年数までのこれから10年のことを中心に話し合った班もありました。お金を捻出する工夫なども議論されていて、良かったと思います。



～ちょこっと ひとことコーナー～

ワークショップの最後に、参加者同士の情報共有を目的として、1名の希望者の方にひとことお話をいただきました。アール・ブリュット立川実行委員会で、主に障害がある人のアートの展示などの活動をされている方のお話を伺いました。

第6回ワークショップの成果物と資料

【成果物】

- ・若葉町将来計画図

【配布資料】

- ・第6回ワークショップ次第
- ・ニュースレターvol.5
- ・前回の成果(施設の評価シート、活動・機能シート全班分)
- ・まちの機能再編にチャレンジ
- ・若葉町の「将来のまちの姿」を考えるために
- ・旧若葉小学校・現清掃工場跡地の利活用に関する
 サウンディング型市場調査 概要および結果
- ・若葉町まちづくりワークショップ 第1回～第5回のふりかえり
- ・アンケート

第7回 将来計画図の見える化！ ～みんなでポスターをつくろう～

はじめに

今回は、前回のワークで班ごとに描いた将来計画図の内容を整理し、キャッチフレーズやこだわりポイントなども加えて、他の方に分かりやすく伝えるためのポスターを作成します。これまで6回にわたるワークショップで検討してきた班の案を、模造紙にレイアウトしてみます。班の想いを表現できるよう工夫しながら、楽しくポスターをつくりましょう！

みなさんが手作りのポスターをそのまま使って、次回、ポスターセッションを行います。



若葉町の将来計画図をポスターにしよう！

【ポスターに入れる要素】

- キャッチフレーズ
(ポスターのタイトル)
- 私たちのこだわりポイント
- 再編・跡地活用イメージ
- この案で期待できること
- 将来に引き継ぐための工夫
など

グループワーク

各班、自由な発想でポスターづくりに取り組みました。模造紙に絵を描いたり、色を塗ったり、持ち寄ったイメージ写真を貼ったり・・・



.....各班の作業風景.....





班によっては、こだわりポイントを見直したり、イラストを描き込んだりしながら、分かりやすく伝えるために、さらにみがきをかけました。
2時間ほどのワークで、すべての班のポスターができあがりました。

次回はワークショップ報告会です ～ポスターセッション～

次回はいよいよ、ワークショップ最終回となります。
ワークショップ報告会として、ポスターセッションを行います。

♪みんなで楽しむポスターセッションの流れ♪

- ① 6班分のポスターを掲示してあります。
まずはポスターを見に行きましょう。
- ② ポスターの内容について、その班のメンバーから説明を聞き、質問したり、意見交換をしてみましょう。
- ③ ポスターの「いいね!」と思ったところにシールを貼ったり、感想をふせんに書きましょう。

ポスターセッションとは?

これまでの成果をまとめたポスターを囲みながら、説明を聞いたり、質疑応答をする発表方法です。



まとめ

東京都立大学 都市環境学部建築学科 助教 讀岐 亮 先生



どの班も、そのグループのこれまでの議論が生きたポスターになったと思います。次回までに、ポスターにある文章やキーワードだけでなく、そこに込めた「想い」や「意味」について、班のメンバーとできる限り共有して準備できると、なお良いですね！

このポスターを、できる限り多くの市民に見ていただき、議論を交わしてもらいたいです。ご家族、お友達、お知り合いなど、ぜひお誘いください！

～ちょこっと ひとことコーナー～

ワークショップの最後に、参加者同士の情報共有を目的として、1名の希望者の方にひとことお話をいただきました。立川商工会議所ヴィジョン推進委員会で検討している、旧若葉小学校をリノベーションし、テナントスペースやアトリエスペースなどとして活用する構想についてのお話を伺いました。



【事務局より】

参加メンバーで考え、つくり上げたポスターには、若葉町への想い、施設や機能の再編プラン、そして若葉町のまちづくりのアイデアが込められています。ぜひ、みなさんで意見を交わしましょう！

第7回ワークショップの成果物と資料

【成果物】

- ・ポスター

【配布資料】

- ・第7回ワークショップ次第
- ・ニュースレターvol.6
- ・前回の成果(若葉町将来計画図全班分)
- ・ポスター作成イメージ例
- ・将来計画図の見える化！～みんなでポスターをつくろう～
- ・アンケート

第8回ワークショップ

テーマ：ポスターセッション ～まちのみんなに伝えよう～

ワークショップ最終回は、報告会としてポスターセッションを行いました。ワークショップ参加者以外の一般の観覧者も参加し、質疑応答や意見交換をしました。

■ポスターセッションについての説明

市と讃岐先生から、ポスターセッションの方法と流れについて説明がありました。

- ① 班分け
- ② 前半セッション 40分
- ③ 後半セッション 40分
- ④ 班ごとにふりかえり



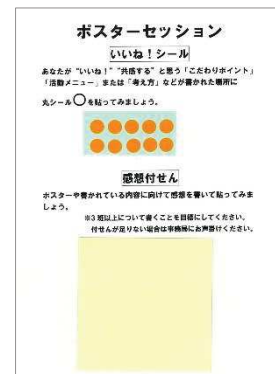
各班、前半に発表するグループと後半に発表するグループの2つに分かれ、前半・後半40分ずつのセッションを行うこととしました。

■ポスターセッションの準備をしよう

班ごとに、第7回ワークショップで作成したポスターを見直しました。最後の仕上げとして手を加えたり、内容の確認などを行いました。

■ポスターセッション

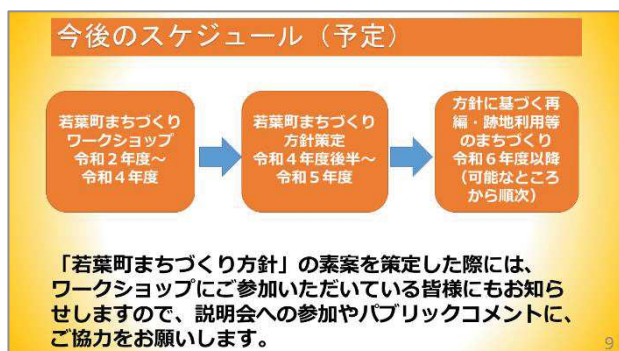
ここから一般観覧者も交え、ポスターセッションを行いました。見学する側の人には、いいなと思った内容についてふせんに感想を書いたり、「いいね！」シールをポスターに貼ったりしました。質疑応答や意見交換が活発に行われ、盛り上がりました。



■まとめ

讃岐先生からは、まちづくりに関わったことを忘れないで欲しいという旨の総評がありました。

市からは、今回のワークショップで検討した内容は、これから策定する「若葉町まちづくり方針」に生かしていくことについて説明しました。



「若葉町まちづくり方針」の素案を策定した際には、ワークショップにご参加いただいている皆様にもお知らせしますので、説明会への参加やパブリックコメントに、ご協力をお願いします。

■最後に、全員で集合写真の撮影をしました。

第8回 ポスターセッション ～まちのみんなに伝えよう～

はじめ

今回は、ワークショップ最終回です。ワークショップ報告会を行いました。

今まで班ごとに検討してきたキャッチフレーズやまちづくりで欠かせない視点であるこだわりポイント、公共施設の再編プラン、旧若葉小学校・清掃工場跡地の活用アイデアなどをまとめたポスターをつかって、ポスターセッションを行いました。

讃岐先生より、楽しくセッションするためのポイントを教えていただきました。

- ・相手の目を見て笑顔で伝える
- ・ポイントをしばって、短いフレーズで説明する



ポスターセッションの準備をしよう

前回のワークショップで作成したポスターを班のメンバーで見直して、最後の仕上げとして手を加えたり、内容の確認などを行いました。

グループワーク



♪みんなで楽しむポスターセッションの流れ♪

- ① 各班、前半に発表するグループと後半に発表するグループの2班に分かれます。
- ② 前半セッション
説明役の人は、自分たちのポスターの前に立ち、他の人に説明します。見る聞く役の人は、他の班のポスターを自由に見に行きます。ポスターの内容について、その班のメンバーから説明を聞き、質問したり、意見交換をしてみましょう。いいなと思った内容を感想（ふせん）に書いたり、「いいね！」シールを貼ります。
- ③ 後半セッション
自分の班に戻り、発表グループをバトンタッチします。
- ④ セッション終了後に、班ごとに質問や意見を振り返ります。

ポスターセッションとは？

これまでの成果をまとめたポスターを囲みながら、説明を聞いたり、質疑応答をする発表方法です。



ポスターセッション

班のメンバーは説明する側と見学する側に分かれ、前半・後半各 40 分ずつのセッションを行いました。ワークショップ参加者以外の観覧者も参加し、議論が盛り上がりました。



～ポスターセッションでふせんに書いていただいた各班の感想シートより(一部抜粋)～

- 幅広い世代がコミュニケーションを取れるスペースを提供される点に関して共感します。
- 自立、自走し行政だけに頼らない仕組みを作り、地域で経済をまわすことは持続可能な地域社会の為に非常に重要だと思う。
- 旧施設をいかに最大限使用するかという視点がとても良かった。
- 子供たちが学校や塾で勉強ばかりでなく生活に結びつくような学びが得られる場があるといいですね！若葉町が人気の町になってほしいです。
- カフェを介した地域の交流の促進をしていく案が Good！
- 温泉ファームで経済の活性化というのがおもしろい！みんなの意見を出せる町議会、やる気があれば出来るかも！？

まとめ

東京都立大学 都市環境学部建築学科 助教 讀岐 亮 先生

コロナ禍ではありましたが、全8回開催することができ、良かったです。
今回、まちづくりに関わったことや、考えたこだわりポイントのことを忘れないで欲しいです。
また、たくさんの班で「つながり」というキーワードが出てきましたが、これはつながりが希薄になってきているというみなさんの危機感の表れかもしれません。つながりを大切にできるよう、みなさんは日々の暮らしに、立川市は行政に、今回のワークショップをぜひ生かしてください。

立川市総合政策部 大塚 正也 部長

今回のワークショップで検討した内容は、これから策定する「若葉町まちづくり方針」に生かしていきたいと考えています。「若葉町まちづくり方針」の素案を策定した際には、説明会へのご参加やパブリックコメントにご協力をお願いします。
なお、みなさんで作成したポスターは、今後、本庁舎やグリーンセンターでの展示を予定しています。

第8回ワークショップの成果物と資料

【成果物】

- ・ポスター(いいね!シール貼ったもの)
- ・感想シート

【配布資料】

- ・ワークショップ報告会チラシ
- ・ニュースレターvol.7
- ・A~F班のポスター画像
- ・ポスターセッション~まちのみんなに伝えよう~
- ・みんなで楽しむポスターセッションの流れ
- ・いいね!シール&感想ふせん
- ・アンケート

【一般観覧者用配布物】

- ・ワークショップ報告会チラシ
- ・A~F班のポスター画像
- ・いいね!シール&感想ふせん
- ・アンケート